

平成20年度 宮城県サッカーリーグ昇格選考試合

競技上の注意事項

試合開始70分前のメンバー表提出の際に、チームはフィールドプレーヤー及びゴールキーパーのユニフォーム(正副2組のシャツ・ショーツ・ストッキング)を持参し、両チーム立ち会いのもとに主審が両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びストッキングのそれぞれについて判断しやすい組合せを決定する。

インナーショーツはショーツと同色のみ着用を認める。インナーウェアについてはシャツからはみ出さなければ特に制約はないが、シャツからはみ出す場合(半袖と長袖の重ね着等)はシャツの色と同色に限り着用を認める。

ベンチ入りはメンバー表に記載した者のみとする。(選手、交代要員及び役員(監督含め最大4名まで))キックオフ5分前に競技者は主審の指示により集合し、審判員より用具の点検を受ける。靴や競技者の装身具(ヘアピン・ネックレス・指輪・イヤリング・ピアス等)その他が競技者自身あるいは他の競技者に危険を及ぼすと主審に判断された場合は、その危険なものを取り除かなければその競技者は試合に参加する事を認めない。

競技者が負傷して主審が競技を停止した場合、主審の承認を得てからチームより1名のみがフィールドに入る事が出来る。但し、負傷の程度を判断する事と負傷者のフィールドからの搬出を手配する事のみ許されるが、フィールド内での治療は認めない。

交代によって退く競技者は、主審の承認を得た後、一般的にはメイン側のハーフウェイライン付近からフィールドの外に出るが、主審の指示があった場合は近くの境界線からフィールドの外に出る。交代要員は、退く競技者がフィールドの外に出た後試合の停止中に主審の承認を得てハーフウェイラインのところよりフィールドに入る。

競技者の飲水は、ボールがアウトオブプレー中にタッチライン上とゴールライン上においてのみ認める。交代要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてフィールド上の競技者と異なる色の服装で、原則としてボールを使用しないで行なう。

延長戦の始まる前にインターバルを取る場合は、競技者は自分のベンチ前のフィールド内で休憩を取る。

PK方式が行われる場合は、競技者は監督の指示を受けるため1分間程度自分のベンチ前へいく事が出来るが、フィールドの外へ出る事は認められない。

その他

試合会場の準備・整理について

- ・準備:第1試合の両チームが行なう。……ライン引き、ゴールの移動等
 - ・整理:最終試合の両チームが行なう。……グラウンドの整地、ゴールの移動等
- (準備担当のチームは、キックオフの90分前までに集合して下さい。)

ゴミ、空缶及びペットボトルなどは各チームが責任を持って処理し、会場提供者に迷惑をかける事。各チームはゴミ袋等持参の上、持ち帰りを励行する事。